

100年企業を目指して

— 東京・下町 伝統・革新の技術・製品・サービス —

「3・11」に発生した東日本大震災は、産業界に事業を継続することの難しさを改めて痛感させた。ただ戦後の産業界を振り返ると、高度経済成長後の二度のオイルショック、バブル崩壊と空白の10年、阪神淡路大震災、度重なる円高、そしてリーマン・ショックなど幾多の苦難を乗り越えてきた。企業寿命30年説という言葉もあるが、今

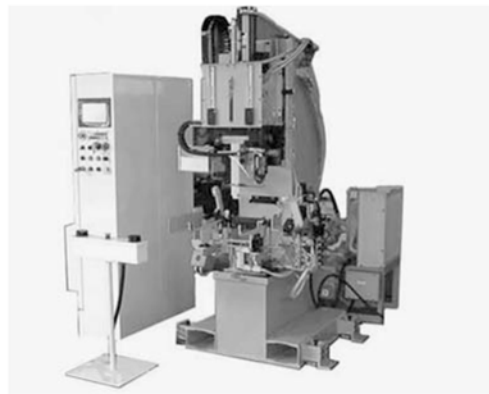
日まで力強く事業運営してきた企業は数多い。日本は世界でも珍しく長寿命企業が多く、創業100年超の企業は2万社以上を数える。時代や市場環境の変化に柔軟に対応してきた企業努力がその背景にある。そこで創業100年企業を目指す東京・下町の優良企業の短編ヒストリーをまとめ、苦難を乗り越える経営のヒントを考える。

山田マシニングツール

64 創業年

1947年（昭和22年）創業の山田マシニングツール。機械工具商社として足した同社だが、刻印（マーキング）機の製造・販売も手がけるメーカー機能を併せ持つまで事業領域を拡大してきた。さらにマーケットも国内から海外へと拡大し、2008年にはタイに現地法人を設立。同社製刻印機を導入している日系自動車メーカーへの現地メンテナンス体制を築いたほか、機械工具の現地販売を強化中だ。

機械工具商社としての同社は、96年にローレット工具では欧州市場でトップシェアのスワロフスキー社と、02年にはネジ転造工具でアルコ社とそれぞれ国内総代理店契約を結ぶなど、顧客



タイにも投入した
車体番号用刻印装置

「商社」「製造」2部門を運営、海外へ飛躍

の生産効率化につながる独自性を持った高性能工具の窓口として、わが国産業界を側面支援してきた。

一方、刻印機メーカーとしての同社は、これまで自動車・機械・電機など各業界に数多くの製品を導入した実績を誇り、グローバル化する製造業に役立つ製品を適時適切に供給してきた。

顧客に最適な刻印機を提供することを最重要視し、昨年には刻印機の歴史や技術、製品などを紹介するサテライトサイト「THE マーキング」を立ち上げた。刻印機を扱う商社・メーカー30社以上のホームページと相互リンクしており、顧客は製品を比較検討できる。8月中旬には自社工場に刻印機のショールームも開設する予定で、ここでも自社製のほか他社製の刻印機も展示し、顧客に総合提案する計画だ。海外事業では刻印機の核部品を日本から取り寄せ、組み立てや制御は現地日系メーカーに委託することで、高品質の製品を低コストで提供できる体制が同社の強みだ。

〈会社プロフィール〉
 【社名】 山田マシニングツール株式会社
 【代表者】 山田雅英社長
 【所在地】 〒110-8575
 東京都台東区台東1-23-6
 【TEL】 03-3833-5046
 【FAX】 03-3832-6165